

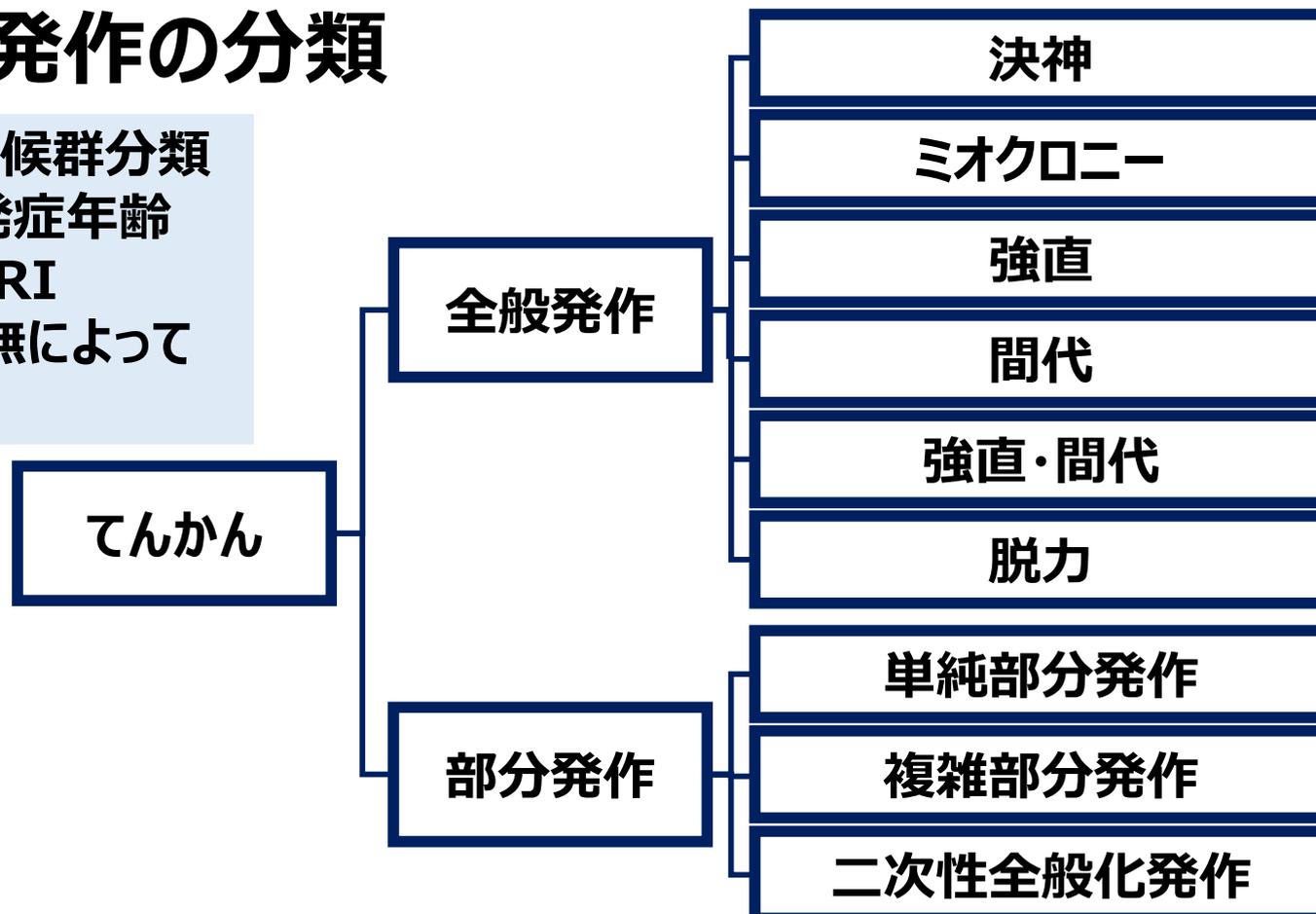
15分で学ぶ！ 障がい者支援の基礎

～てんかん～

第二回 「てんかんの分類」

てんかん発作の分類

※てんかん症候群分類
発作分類 発症年齢
脳波 CT MRI
合併症の有無によって
下す診断名



部分発作： 脳の一部分が興奮 ※脳のどの部位で起こるかによって症状が違う

① 単純部分発作（焦点発作）

意識障害を伴わない、

すなわち、発作が起きても意識がなくなる発作。

脳のどの部分で起こるかによって、発作の症状が違う。

多くの場合は複雑部分発作へ移行することが多い。

運動性の発作

(運動徴候)

- ・手足がピクピクッと動いたり、勝手に動きを止めたりする
- ・とっさに言葉が出てこない、話すことができない
- ・目の焦点が合わない、勝手に眼球が動く

詳細な観察

感覚発作 ※運動発作以外の単純部分発作で本人にしかわからない

- ・何かが胃にこみ上げてくる感じ
- ・何かがやってくるような感じ
- ・いつも決まった音・臭いがする
- ・苦い味や塩辛い味がする
- ・心臓がドキドキする
- ・吐きそうな気分になる
- ・めまいがする
- ・痛みかゆみ、しびれを感じる
- ・視覚・聴覚・嗅覚・味覚に
何らかの症状がある

② 複雑部分発作

- ・全身のけいれんはないが意識のなくなる部分発作
- ・多くの場合、単純部分発作に続いて起こります

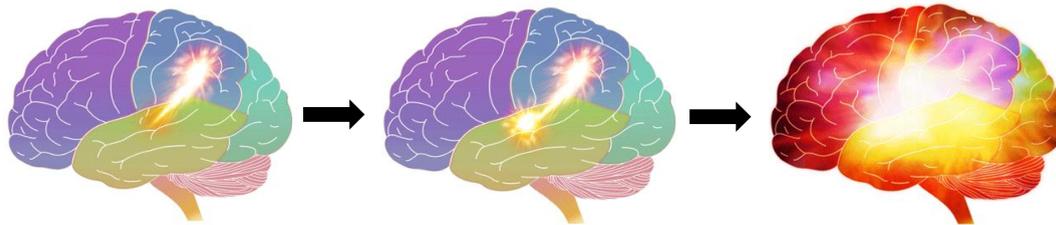
側頭葉起源 特徴：意識消失が主症状

- ・動作停止。一点をじっと見る
- ・手足の指先がもぞもぞ動く
- ・口元がもぐもぐ、くちやくちや動くなどの口部自動症が見られることも
- ・終了後のもうろう状態（混乱、頭痛、吐き気）

前頭葉起源 特徴：短時間で激しい動きを伴うもの

- ・大腿や上腕部などの近位筋が激しく動く。
- ・自転車を漕ぐように足を大きく動かすのが典型的
- ・夜間に多い
- ・一旦発作が起こるとその後に繰り返し続くことが多い

③二次性全般化発作：全身がけいれんする発作。
(両側性けいれん発作) 多くは強直間代発作をとる



5秒以上筋肉がつっぱる (強直期)



腕や脚が1～2秒周期でブルブルッと短く収縮 (間代期)



多くの場合、発作後もうろう状態へ移行

※多くは1分程度 長くて5分程度

特殊な発作

反側間代発作

- ・左半身か右半身がけいれんする発作

シルビウス発作

- ・寝入りばな、または起きがけの口周囲。顔面に見られる発作

笑い発作

- ・まるで笑っているように見えるのが特徴
- ・乳幼児に多く発症

全般発作： 脳の大部分や全体が興奮 ※発作中、意識はありません

・欠神発作・非定型欠神発作

特徴：突然意識消失し、動作停止、数秒から十数秒で突然意識回復

・ミオクローニー発作

特徴：主に両腕が同時にピクツとする。通常意識はあり、転倒しない

・強直間代発作

特徴：突然意識消失し、転倒、全身の強直けいれんから間代けいれんに続く

•間代発作

特徴：小児に多く見られる全身の間代けいれん

•強直発作

**特徴：前兆なく意識を消失、発声、両肩を持ち上げ、頭部は前屈し、
眼球上点、口をへらの字にする**

•脱力発作

特徴：前兆なく意識を消失、全身の力が抜けて転倒

観察と記録

- てんかんの診断にとって、発作の様子を観察し記録することはとても重要
- 患者は意識を失っている場合、自分の発作の症状を自分で知ることが難しい。
- 発作を観察したら、まずメモをとる。発作は秒単位で推移し、全体としても短いため、あとで思い起こす手がかりとして手近な紙に記入しておく。
- 動画で記録
最近では、携帯電話やデジタルカメラなどで動画を簡単に記録できるようになった。もし可能であれば録画して、消去しないようにする。診察時に持参すると、とても役立つ。
- 発作の起きやすい状況や発作のパターンなどが記録から読み取れば、転倒などの予防対策をとることができる。

観察記録項目

1. 発作が起きた時間と場所
2. 状況、誘因になるものは？
何をしている時？
3. 意識障害の有無※声かけの応答
4. けんれんがあった場合※左右部位
 - a. 身体のどこから始まったか
 - b. 眼球や頭はどちらにむいていたか
 - c. 四肢は突っ張り硬くなっていたか
 - d. 四肢がガクガクとなったか
 - e. 左右で差があったか
5. けいれんがない場合
 - a. いつ b. 誰が
 - c. なぜ、異変に気づいたか
 - d. 行動の異常はあったか
6. 発作の継続時間
はじまり … おわり
7. 身体の変化
 - a. 顔色 b. 唇の色
 - c. 唾液がでていたか d. 失禁
8. 発作後の様子
(眠ったか、手足に麻痺があったか、ぼんやりして歩き回ったかなど)
9. 怪我の有無
転倒 口内・舌 その他外傷